

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

RI会長：カール・ヴィルヘルム・ステンハマー / ガバナー：野中 弘之

会長：内山俊夫 / 幹事：山本憲作

例会日：木曜日

午後12時30分開会

会 場：アドバンテスト

行田クラブハウス

クラブ会報委員会

委員長：境野登章 / 副委員長：廣川和夫

委 員：島田修、鈴木貴大、田中敏男

石渡健司、小菅克祥、廣世雅昭

2005～06 国際ロータリーのテーマ

「超我の奉仕」



SERVICE Above Self

第1936回 例 会 (9月1日)

会長挨拶 内山俊夫 会長



皆様こんにちは。

本日は「防災の日」ですが、会員の皆様、万一のそなえはいかがでしょうか。「災害は忘れた頃にやってくる」とも申します。9月11日(日)は災害支援体験バーベキュー例会であります。家族委員会持田委員長さん、そして災害支援体験は、新潟地震でも支援活動を実際にされた飯田副委員長が中心になって計画して頂いております。ご家族皆様の多くの参加を希望いたします。

「アジアの子どもたちの絵日記展」が8月28日までの展示を終了いたしました。後ほど世界社会奉仕委員会の植田委員長さんより詳しい報告がありますが、7月21日のオープニングセレモニーにつきまして、市報ぎょうだ9月号20ページの写真館のコーナーに掲載されました。写真は私から横田市長への行田ロータリー文庫児童図書目録寄贈の場面ですが、非常に良く撮れた写真が載っております。ただ、寄贈とは838冊とかかれておりますが、正確には835冊でございます。

なお、昨日は植田さんほか片付けをお手伝いいただきました皆様には深く感謝申し上げます。

本日の卓話は、渡辺栄一会員にお願いしました。私から申し上げるまでもなく、ロータリークラブ活動になくてはならない人材であります。また、今年度は第2570地区のクラブ奉仕部門委員長として、奉仕部門の要として活躍頂いており、誠にご苦労様で御座います。

特に、この度の「超我の奉仕賞」を受賞されましたことは、私たち行田ロータリークラブの誇りであります。まさに、本年度のRI会長のテーマは「超我の奉仕」であります。この言葉はモットーとして1950年デトロイト大会にて採択されて以来、半世紀以上ロータリーの象徴として今日に至っております。

この標語をRI会長は、「私たちが人道的奉仕を遂行し、高い道徳的水準を推進し、国際理解と平和のために活動する上で、根底をなす動機となっている」とし、すべてのロータリアンに「超我の奉仕」の真の意味をじっくり考えていただく機会として欲しいといわれております。

言葉の解釈はそれぞれの方によって色々な見解が出ると考えますが、時には語り合ってもいいのではないかと存じます。

その様なところから、本日は渡辺会員には「ロータリーについて」卓話を頂く事を感謝いたします。

9月に入りましてロータリーの月間テーマは「新世代のための月間」となります。

ロータリアンの使命として、新世代奉仕につきまして、年齢30歳までの若い人全てを含む新世代の健康、人間の価値、教育、自己開発等のニーズを認識し、生活力を高めることで、新世代に将来への準備をさせることをロータリアンの責務とする、とされております

新世代につきましては、その様な意味をふまえ活動をしてまいります。

以上会長報告と致します。

委員会報告

親睦委員会 古澤委員長

皆さん今日は！

今年度親睦委員会の方針の一つでございます、メイキャップツアーをいよいよ始めさせて頂きたいと思っております。

一回目のメイキャップ先は、行きやすいところになります。さくらロータリークラブ参りたいと思います。

例会場は行田ロータリークラブと同じ「ここ」で
(次頁へつづく)



ございます。日にちは、9月13日第二火曜日になります。

このような機会にまだ一度もメイキャップに行ったことが無いんだと、いう方がいらっしゃいましたらツアーで参りたいと思いますので、私の方か、出席奨励委員長の小島さんの方に近くの内に申し込んで下さい。お願い致します。

時間は行田ロータリークラブと同じだと思います。では宜しくお願い致します。



世界社会奉仕委員会 植田委員長



アジアこども絵日記展を無事終了させてもらいました。親睦委員会の皆様にお手伝い頂きまして、有難うございました。

来客数は、オープニング時に104名の来訪者がありました。開始期間中に約500名の来客を頂き、まずまずの成功だと思います。

皆様有難うございました。



米山委員会 富田委員長

皆さん今日は！

米山委員会よりご報告申し上げます。今年度、米山の方で普通寄付と特別寄付と言う事で、普通寄付は1名¥4,000でお願いしておりますが、特別寄付を1名¥100,000と言う事で、7名の方にお願いしたところ、今日現在、全員の方に入金頂きました。本当に有難うございました。

今日、事務局の方で手続きを取らせて頂きまして、財団法人ロータリー米山記念奨学会へ送らせて頂きます。

以上 有難うございます。



幹事報告 山本憲作 幹事



○災害支援体験バーベキュー例会、9月11日です。

○白河提灯祭り例会、9月16日です。

○日帰り旅行企画

東京証券取引所、劇団四季「オペラ座の怪人」を見学。10月20日です。

○会長ノミニー指名委員会が設置されました。委員長は黒淵陽夫さんです。

卓話 「私のロータリー歴」 渡辺会員

改めて自己紹介の必要は無いと思いますが、自己紹介の代わりに実は、今日はこちらに何うまで何を申し上げようと、いろいろ考えておりましたけれども、先日3年未満の入会者の方の為の何かがあった時に、15人ほどいらっしゃると言うことを伺いまして私共のクラブも、大勢であると同時に新陳代謝が非常に激しいと、こんなことも実はその時痛感致しました。

私共のクラブも間もなく40周年になるかというところですが、中にはこちらにおいでの方の佐藤さん、小池英輔、私ども以上にクラブの事について
(次頁へつづく)



ては詳しい方もいらっしゃるわけでございますので、あまり今日は「嘘」は申し上げられません。私自分の32年間、足掛け33年に入っていますが、その間にいろいろ皆さんのご指導を頂きながら過ごして参りました、私自身のロータリー歴を皆さんにご紹介と言うか反省しながら申し上げて、できうればその中で私共のクラブが過去に於いてどの様な奉仕活動、又行事等を行って来たかを皆さんに気が付いて頂ければ有り難いと思えます。

最近では歴史と言う事が忘れられがちございまして、かつての占領軍の政策によりまして、日本から日本の歴史をいかにして抹殺するかと先日もある講演会がございまして、大学の先生が「いかに漢字を無くすか」と言う事で占領軍は日本から漢字を無くして全て公用語をローマ字にすると言うことがあったそうです。

これが今だに残っておりまして、当用漢字を皆さんご存知かと思えますが、当用漢字は取り合えず使うけれども、約1800字をやがて無くすし日本から漢字を無くすというのがGHQの方針で有ったわけで、それが今だに何となく残っているというところがございまして。

私共の日本の国造りというのがあらゆる面でもまだ占領政策から抜けていないということ、その先生から伺いまして、私も同感でございました。

その様な意味あいから、日本のロータリー歴もその様な意味から、まだまだ皆さんにロータリーの歴史を解かって頂いていないと言う事が、最近の運営上の課題になっております。私もおこがましくも地区のクラブ奉仕部門委員長として地区という所がどの様なところか、ある程度は知っておりましたが実際行って見て大変驚きました。

我々の様な不勉強では地区の皆さんに付いて行けない程、地区には素晴らしい方がいらっしゃいますが、ただその中で、何となく踏襲的に行われている事が多い、我々の様に地元のクラブで30年もベッタリやって来たものにとりましては、地区等の有り方に付きましてやや反省するところも有るのではないかと思ひ、ある意味では進んでおりますけれども、ある意味ではなかなか改革が進んでいないのではないかと、この「ひと月」の間に感じたわけでございます。

余談になりますが、8月25日に出了た週間新潮に、日本初皆既日食の撮影現場が載っておりますが、写真と記事は行田の郷土博物館から提供されて

いますが、日本で有史以来最初の皆既日食が、この白河で佐渡から福島にかけての帯上の状態の中で観測出来るということで、アメリカからも日本でも有数の方が白河へおいでになった事がございまして。小峰城の石垣の上で写真を取り、日本最初の記録になりました。この写真を撮った方が何方かと言いますと、私共行田市ご出身の「小川和正さん」という写真家でございます。

白河で写真を撮ってございました。白河クラブの方にご案内しましたが、あちらの方もご存知なかったと大変驚いておりました。何かご縁があったのではないかとおぼれます。

＜私のロータリー歴として＞

私も大変大勢の方にお世話になったと一番に感じます。

1973年1月、鈴木金次郎さん…故人でございますが、推薦を頂きまして41歳の時に入会をさせて頂きました。

3年後の76年に横田信三さんが会長になるということで、青柳さんから幹事の依頼を受けたのが、そもそも苦勞の始まりでした。あくる年には横田さんが第五文区、只今の第五グループです、そちらの分区代理、今のガバナー補佐の役をやりまして、ご存知のIMを実行するということになり、私が実行委員長となりまして初めて環境保全問題を取り上げました。

NHKの解説者で伊藤さんをお迎えいたしまして、当時話題になっておりました南極のオゾンの減少問題を取り上げまして、ロータリーとして初めて環境問題を取り上げ、アトラクションも行い最後までご参加頂いた方は帰る方もなく、誠にやりがいを感じたIMでした。

それがロータリーとしての環境問題の口火であったと記憶しております。

1981年に小池英輔さんが会長になられた時、創立15周年事業と致しました、中学生を対象に致しました明治大学マンドリンクラブの演奏会。これは大変大勢の方に入場して頂き、これがキッカケとなりまして1年おいたあくる年から、3クラブ合同共同主催・共催により行田市・教育委員会も加わって頂きまして、中学生3年生全員を対象に20年間続きました。行田ロータリーマンドリンクラブ演奏会が初めてはじまったわけでございます。

その後あくる年の82年に亡くなられた新井一美さんが会長の時、「さきたま」においでになる方に、乗り捨ての自転車をという発想から「市」に相談したところ立派なプレハブの駐輪場を作り、老人クラブの皆さん方が案内と保管と預かりを行う話しが決まりました。しかし始まる寸前になりまして予算取りの臨時議会の最中にある方から「道路の穴におち怪我でもされたら市の責任になるからやめたほうが良い」忠実な進言が中川市長にございまして、中止になり皆の努力が「泡」になってしまったと言う事も有りました。

1984年今津さんが会長の時に、行田の子供たちに行田の伝統芸能を知ってもらおう、ささら・獅子舞あるいは行田に伝わる歴史・民話等を子供達に聞いてもらおうと計画を立てまして実施致しました。

(次頁へつづく)

これも先生方の協力もございまして、16年間さくらクラブさんとの共催によって続ける事ができました。この「ふるさとを知る集い」は途中から皆さんがいかに子供を楽しませるか、おもしろ・おかしくやるかという方向に走ってしまった為に、残念ながら消えてしまいました。やはりその様な点はもっと慎重にやるべきだったとそんな気がしています。

その後8名で一緒に入りました同志の中で、私が最後の会長と言うことになりまして、23代の会長を受けました。

いくつかの事業の中で大変興味深いのは、岡部俊一郎さんという日本のサッカーの育ての親と申しますか、現在でも役員をなされていますが、岡部俊一郎さんの少年サッカー教室と講演会。

その狙いは、当時野球をやらなければ行田ではスポーツ人ではないと言う位、野球ばかりでございました。行田のスポーツ界、特に子供のスポーツ界にサッカーというものを始めて、幹部の養成を意図としサッカー教室を開き同時に講演を行い、その時の後援者が産文で350名程度と本当に寂しいかぎりでもございました。

まだ行田ではサッカーはこの程度であったかと、同じ月の本庄では1200の会場が満席だったそうです。たぶん行田でもそうなるかなと甘え考えでやりましたが、行田でやりましたら300~350がやっとでしょうか。

開催中に何度もロビーに出て、通る人が曲がって来ないかなという思いを産文のロビーでしました。しかし、参加して頂いた方には大変感銘深く聞いて頂きました。子供達がそれから一生懸命になり、又リーダーの方が頑張りまして、それ以来、行田にはサッカー連盟できまして、今では、この界限有数のサッカーがあるわけです。最初はそんなものかなと思いが致しました。

岡野さんの話の中心は、サッカーは一人では出来ない、いかにチームワークと相手のためにいかに役立つかという精神が無かったらサッカーは出来ない。自分一人でやろうとしても不可能と言う事で、我々生き方にも通ずる訳ですが、この様な事を強調いたしまして、岡野さんはお話をされました。

1997年にはかねがね念願でございました、わたしの会長の時の永島幹事と話題にしておりました、何とか行田の「縁」の在る白河に行ってみないかと考えておりましたが、チョットしたことから動機がございまして、初めて白河を訪ねたのが、こんにちの行田・白河提携の発端でございました。

渡辺フクオさんという白河西クラブの方でございましたが、行田へ参りまして何とか「縁」の有る町の交流をしたいと話をしていたと、永沼督一郎さんから伺いまして、その晩すぐ白河へ電話を致しまして、それがご縁でこんにちの状態になった訳でございます。

1999年行田市が市制50周年を向かえ、市の呼びかけに応じまして、行田賢人講演会というおこがましい名前を付けまして、行田にゆかりの方に行田市民の前で講演をして頂こうと梅原猛さん・白石貴久さん・小島慶三さん・合田敏行さん・林裕さんこういった方々が行田にみえまして講演をして頂きました。

当時の会長は新井さんでしたが、この市制50周

年良くぞ、皆さんのお力で出来たと感謝いたしてるところでございます。

その後2002年になりまして、小池英輔さんがめでたくガバナーに就任されまして、何とか行田ここに有りと、行田を100%理解して頂き、合わせてロータリーの歴史や日本の歴史等も皆さん勉強して頂こうという、大変沢山の「夢」を抱きまして小池ガバナーの指導の下に地区大会を行った訳でございまして、こちらいらっしやる小山さんが良く言っている「これが最後でうちの地区大会も変わってしまった」これは最高の評価を受けたのではないかと思います。

多少、自画自賛になるんですが、あれだけ皆さんがご婦人と一緒に会員主体の何処の団体にも振らないで直接我々が手掛けた行田の地区大会、なかなか二度とは出来ないのではないかと、それ以後の大会を見ると業者に振っているわけですけど、私どもが全部、全て自前でいったわけです地区の会員の方にも大変受けて、二日間おいでになった方にも相当ございました。

やはり誠意というものはやれば通じるのかと深く感じた地区大会でございました。

その後、2003年にロータリー100年が話題になりまして、永島元会長から100年委員を決めるという話がございまして、期間は3年だというようなことで、実はお受けしたのが始まりで、今回の
(次頁へつづく)

結婚・誕生祝い



誕生祝い

清水義夫会員・大野会員・反町会員
小山会員・黒淵会員・小池利昌会員
小島会員・小池英輔会員

代表挨拶 大野会員

皆さん今日は！

先ほどは、誕生祝いを頂きまして有難うございました。今お祝いを頂いた方の中では私が一番、人生経験が浅いと言うことで、「貴方やりなさい」と言うことで、一様やらせて頂く事になりました。

私は9月で56歳になります。40・50は鼻たらしと良く言われますけれど、本当に自分自身そんなつもりでおります。

これからも、益々精進して頑張っていきたいと思っておりますので、宜しくご指導の程宜しくお願い致します。

有難うございました。

ロータリー100年記念のもろもろの事業を皆さんと一緒にやらせて頂いた訳でございます。

私自身の考えと致しましては、この際ロータリーの存在感を一層出した方が良いのではないかと、市民に見える事業、いま必要とされている事業、あるいは今は必要と感じていなくても必ず役に立つ、いろんな視点から考えてまいりまして、湯本さんと相談いたしまして、「本」を読まない子供達にいかにして「本」を読んでもらうか、これは学校でも家庭でもなかなかその時は「本」を薦めてないわけで、今はそんな時代ではないと、電波の時代あるいは電子機器の時代で、そんな時代に「本」なんて古いと端的な批判もございましたが、ともにかくにも読書推進をしようと、まず「本」が無くてはダメと言う事で、これは学校行くとひどいものですが市立図書館にもたいした「本」がございませんでした。

特に幼児向けの今一番読まれている「本」が少ないという実感がございまして、実は皆さんのお力に寄りまして、3年計画で計300万円約2,700冊のこの近隣界限ない素晴らしい「本」が選定できまして、それをロータリー文庫に納めさせて頂きました。

あわせて志茂田さんや渡辺雄一さん、平野さん、この様な方々のご支援も頂きまして、良いものを聞き、良いものを見て頂き、合わせてそれが全て読書に関係があるという、その辺のことを皆さんに知っていただいて、我々が寄贈した図書が単に陳列物に終らない様に大勢の方に利用して頂ける、と言う風土を何とかロータリーの存在感を通じて皆さんに、お知らせしたいと言う事でやらせて頂きました。

お蔭様で大変素晴らしい効果を頂いております。私のやった事はほんの一部でございまして、各ご先輩がもっともっと沢山の事業を行っておられるわけでごございまして、他のクラブを回らして頂いて、これだけの「筋」の通った、その時その時の横の事業をやっておりますけれど、行田クラブの様に一貫して縦の筋の通った事業をやっているクラブはまず無いと思っております。

思いつきでやるクラブでなくて、行田クラブはまさに同じ奉仕活動するのにも太いパイプを縦に流して、時代に合わせて行う、大変その様な点では皆さんのお考えがしっかりしているので出来たのではなからうかと感謝しております。

(次頁へつづく)

ニコニコ報告

☆内山会長…9月に入りました。夏バテしないよう元気に過ごしましょう。

本日は渡辺会員の卓話です。お世話になります。

☆山本(憲)幹事…渡辺様よろしくお願いいたします。

☆黒淵会員…渡辺会員、本日はご苦勞様です。島田修さんお久しぶりです。

1947年9月12日に生まれて58年になりました。誕生祝い有り難うございます。

☆渡辺会員…本日は卓話の機会をいただきありがとうございます。

☆小池(英)会員…誕生月を迎えて。

☆石塚会員…渡辺会員、卓話ありがとうございます。

☆佐藤会員…渡辺会員、卓話ご苦勞様です。

☆永島(健)会員…島田修さん、ようこそ例会に。お待ちしておりました。頑張りましょう。

☆小山会員…渡辺会員卓話ありがとうございます。

☆湯本会員…渡辺会員、本日は卓話ありがとうございます。

☆小林会員…渡辺会員卓話ありがとうございます。暑さの中にも秋を感じるこのごろです。この冬はウォールビズと言うことなので、この夏よく温まってください。

☆富田会員…渡辺様、卓話ありがとうございます。

☆森島会員…渡辺様、卓話ありがとうございます。

☆島田会員…久しぶりの出席です。よろしくお願いいたします。

☆福島会員…アジア子供の絵日記展の記事が行田市報に掲載されています。植田委員長はじめ関係の皆様ご苦勞様でした。

☆坂本会員…渡辺様、卓話ありがとうございます。

☆小池(利)会員…渡辺様、卓話ありがとうございます。

☆武田会員…渡辺様、卓話ありがとうございます。

☆鈴木(康)会員…渡辺様、卓話ありがとうございます。

☆清水(治)会員…渡辺様、卓話ありがとうございます。

☆古沢(勇)会員…渡辺地区クラブ奉仕部門委員長、卓話楽しみです。

☆大野会員…誕生祝いありがとうございます。

☆小菅会員…渡辺会員、卓話ありがとうございます。

☆中島会員…渡辺会員、卓話ありがとうございます。

☆小島会員…渡辺会員、卓話ありがとうございます。

☆植田会員…渡辺会員、卓話ありがとうございます。

☆廣川会員…皆様暑い中ご苦勞様です。

渡辺会員、卓話ありがとうございます。

☆境野会員…渡辺様、卓話ありがとうございます。

山本(憲)さんの会社で保険をお世話になりました。ありがとうございます。

合計¥30000

行田クラブはその様なクラブで有ると言う事をご自覚頂ければ幸いです。卓話にはなりませんけれども以上報告をさせて頂いて終わりとさせて頂きす。

どうも有り難うございました。

謝辞 内山会長

渡辺さんには「私のロータリー歴」という事でございますけれども、渡辺さんが入会なされてから活躍の中に、行田ロータリーの脈々とした歴史と伝統の中で活動されてきたと言う事を実感いたしました。

現在行われている事がさかのぼってお話頂けますと、実にハッキリとした点を確認したと思えました。私も今年度は「それでこそロータリー」とテーマさせて頂きましたが、やはり渡辺さんにはロータリアンの誇りを寄り強く感じ取ることが出来ました。とわたしは感じております。

その様な意味から会員の皆さんも、なかなか渡辺さんの真似は出来ませんが、一人ひとりがロータリアンの誇りを持ちながら、ロータリー活動に参画して頂ければ益々素晴らしい行田ロータリーになると確信を持ったしだいです。

本日は大変貴重なお話を頂きまして、大変有難うございました。今後是非お力貸して頂きまして、ロータリーの王道進んで頂ければと思います。

どうも有難うございました。

出席報告

正会員数	72名	メイクアップ者	1名
本日の出席者	36名	出席率	51.39%

米山奨学生

グエンくんに奨学金の贈呈

